

平成27年度第1回（第11期第6回）小平市廃棄物減量等推進審議会
会 議 次 第

平成27年6月26日（金）
午後2時00分～
小平市中央公民館 講座室2

1 開会

2 事務局報告

3 議事

(1) 一般廃棄物処理基本計画の数値目標（平成26年度実績速報値）について（報告）

(2) 小平市リサイクルセンターの更新に係る進捗状況について（報告）

(3) 重点施策の実現に向けて

4 その他

5 閉会

配付資料

資料1 一般廃棄物処理基本計画の数値目標（平成26年度実績速報値）

資料2-1 「（仮称）小平市リサイクルセンター整備基本計画」策定の基本方針

資料2-2 小平市リサイクルセンター施設概要

資料3 答申書－骨子案－

参考資料 事務局からの報告事項（メモ）

- 会長 それでは会議を始めます。本日は3人の委員が欠席されています。
また、審議会の委員に交代がありましたので、お知らせいたします。
事業者（大規模小売店）の分野で、㈱いなげやから推薦をいただき委員となられていた池内委員が人事異動されましたので、今後は板羽氏が委員として参加されま
す。一言ご挨拶いただければと思います。
- 板羽委員 はじめまして、いなげや物流運営チーム環境の担当をしております、板羽と申し
ます。環境チームで1年ほどしか経っていませんが、いなげやの管理部門の責任者
の立場で3Rの推進を全社一丸となって取り組んでいます。今後ともよろしく願
いいたします。
- 会長 開始に当たりまして、岡村環境部長からごあいさついただきます。
- 環境部長 皆様ご出席いただきありがとうございます。4月に行われました議員改選により
女性議員が10名になりました。6月議会では環境に関する質問をいただき、活発
な議論が行われています。
- 会長 それでは、次第の2 事務局報告をお願いします。
- 事務局 事務局から4点のご報告をさせていただきます。事務局からの報告事項（メモ）
をご覧ください。
*** 資料に沿って説明 ***
- 会長 ただいま報告のあった件について、ご質問などございますか。
- 委員 3市共同資源物処理施設整備地域連絡協議会の進捗状況についてお伺いしたい。
- 事務局 協議会は毎月第2土曜日の夜7時から9時で開催され、施設の建替え等に向けた
協議を進めています。
- 会長 続いて、次第の3 議事に移ります。
はじめに、(1)「一般廃棄物処理基本計画の数値目標（平成26年度実績速報値）
について」、事務局から報告をお願いします。
- 事務局 説明させていただきます。資料1をごらんください。
今回は、ごみと資源の量に関するデータから数値目標と指標について、速報値と
いう扱いではございますがお示しするものでございます。
26年度の結果につきましては、資料の記載のとおり、数値目標値につきましては、
いずれも前年度から順調に減量が進み、排出物原単位につきましては、約2.2%減
の748.2g/人日、処理ごみ量原単位につきましては、約2.3%減の572g/人日でご
ざいました。その他の指標につきましては、ごらんとおりでございます。
なお、市の年度末人口につきましては、前年度比で約0.8%増えておりますが、一
人一日当たりの原単位として算出する前の、総量につきましても、ごみと資源の総
量で約1.4%、ごみだけの量で約0.9%、それぞれ減量しております。
- 会長 質問などありましたらお願いします。

- 委員 収集時リサイクル率の目標値と実績にかなり開きがあります。原因などはありませんか。
- 事務局 説明しておりませんが、左端に書いてありますのが、前計画の目標値として記載してあります。収集時リサイクル率については前計画の策定時に議論があったと記憶しておりますが、高い目標を掲げるということで30%としていましたが、結果としてそこには届きませんでした。今計画でモニター指標としましたのは、例えば、ごみの量は減らずに資源物の量が減るということは、リサイクル率に関して言えば成績が悪化します。ごみも資源も発生抑制で言えば減ることは悪いことではないので、目標値ではなくてモニター指標という形にさせていただきました。
- 委員 計画目標値の排出物原単位の減らすべき量の60g/人日をPRするために、生ごみだとこれくらいの量、紙ごみだとこれくらいの量と具体的なものを出したほうが分かりやすいのではないのでしょうか。
- 委員 上の2つを見ますと、26年度からドンと減らすように見えるのですが、毎年少しずつ減っているので34年度までに目標値を達成するというものでいいのでしょうか。また、順調に減っているようなので、目標の達成は可能という見方でよいのでしょうか。
- 事務局 目標値は34年度までに達成する形です。ドンと下がるように見える点は資料を作る際に修正していきたいと思います。目標の達成のため、今後も基本計画にあるような減量施策を進めていきたいと思います。
- 委員 ごみの減らすための方法などの具体的なPRはやっていますか。
- 事務局 昨年度新しく作りましたごみと資源の出し方のパンフレットでは、生ごみの水を切るだけでもごみが減ること、実行委員会の事業やモデル事業などの減量のための取り組み、どんなものにリサイクルされるかを載せて啓発を行っています。
- 委員 今回のパンフレットはプラスチックをこのくらいきれいにすればいいなどが載っていて良かったです。市報でももっとPRした方がよいと思います。
- 事務局 毎月市報の5日号の欄外でごみ減量のPRをしています。未利用食品を減らしましょうなど掲載していますが、さらに目立つ場所を獲得して掲載を進めていきたいと考えています。
- 会長 市報特集号を獲得できるよう努力していただければと思います。
- 委員 市報の欄外のコーナーは何年くらい使っていますか。
- 事務局 2、3年くらい連載しています。
- 会長 次に、(2)「小平市リサイクルセンターの更新に係る進捗状況について」、事務局

から、報告をお願いします。

事務局

本日は、ワークショップの立ち上げの状況報告をさせていただきます。

4月19日に地域住民の皆様を対象にワークショップの立ち上げについて住民説明会を、5月9日には広い地域を対象に住民説明会を開催しました。4月には、8人、5月には11人の参加をいただきました。

また、5月17日には近隣のマンションの皆様にもリサイクルセンターの更新とワークショップの立ち上げについて説明会をさせていただきました。

この、説明会以外にも、窓口や電話でご説明などを申し上げ、近隣住民の方を含めまして、14名の方からのワークショップ参加の申し込みをいただくことができました。

第1回のワークショップを7月18日に開催する予定になっておりますが、ワークショップの参加予定の皆様からのご要望があり、6月30日に、小平市リサイクルセンターと小平市清掃事務所及び、狛江市ビン・缶リサイクルセンターの施設見学に希望者で行ってまいります。

この狛江市ビン・缶リサイクルセンターは1994年10月に完成し稼働した施設で、住宅地に囲まれた場所にあり、すぐ裏側に保育園とマンションが立地しています。小平市リサイクルセンターを更新するにあたり、参考になる点も多くあると思われまます。

ワークショップは、第2回を9月に開催し、第3回を12月に予定しています。

また、全体的なスケジュールですが、9月頃には、整備基本計画の素案を作成し、その後、市民懇談会及びパブリックコメントを実施し、広くご意見、ご要望をお聞きする予定です。

廃棄物減量等推進審議会の皆様には、7月と11月及び来年3月に開催予定の廃棄物減量等推進審議会で、ご意見やご提案をいただきたいと存じます。

会長

質問はありますか。

委員

ワークショップと審議会は連動するようですが、審議会の役割はどんなものになりますか。

事務局

地域の皆様を中心に基本計画の素案を作らせてもらいますが、審議会の皆様には7月の第1回ワークショップでどこまで決まったかを報告申し上げて、皆様から意見をいただき、11月には素案が固まっていると思いますので、審議会のご意見を取り入れて反映していきたいと考えています。

委員

基本計画については2回のワークショップでどのように進めていくのでしょうか。

事務局

コンサルタントの事業者と事務局で大まかな素案を作らせていただいて、事前にワークショップ参加者に資料をお示しして、第1回ワークショップで議論いただく予定です。

会長

近所に住んでいる人は要望が常にあると思います。活発な意見が出るのではないかと思います。

委員	ワークショップ参加者で近所の方とそれ以外の方の割合はどのくらいですか。
事務局	参加者は14名で男性10名、女性4名です。地域の方は対象が250世帯いらっしゃいますが、近隣にお住まいの方が6名参加しています。
委員	2回のワークショップをさらに増やすことは考えていますか。
事務局	ワークショップの皆様からご要望があれば、増やしていきたいと考えています。
会長	次に、(3)「重点施策の実現に向けて」を議題とします。 資料3の「答申書－骨子案－」について、事務局から説明をお願いします。
事務局	今期の審議会も、2年間の任期の折り返しの時期となりますので、答申に向けたご審議を進めていただく頃合いと考えております。 そのことから、資料3としまして、答申書の形を大枠でお示しし、審議のご参考としていただければと作成したものです。 内容といたしましては、はじめに「1」としまして、全体的・総括的な方向性をお示しいただき、次いで「2」として、一般廃棄物処理基本計画の重点施策の(1)から(5)までの5項目、(4)につきまして①から③までの小項目を記載しており、施策の実現に当たってのある程度大きな方向性や留意点をお示しいただくことをイメージしております。 裏面に移りまして、「3」としましては、それぞれの施策についての比較的細かな留意点などを列記する形をイメージしております。 今後の審議に応じまして、答申書構成に変更が生じることもあろうかと存じますが、現時点での審議の参考にしていただければと存じます。 以上でございます。
会長	それでは、これまでの審議会での視察や東大和市の課長からのお話なども踏まえて、この審議会の諮問事項であります「小平市一般廃棄物処理基本計画に定める重点施策の実現について」、各委員から方向性や留意点としてお考えになること、あるいはこれまでの感想などでも結構ですので、お話いただければと思います。 本日、ご欠席の林田委員からは事前にご意見をいただいておりますので、その報告も合わせて、副会長からお願いします。
副会長	1点目に3Rの推進について、資源循環課では小学校のエコに関する授業の支援ができるツールを持っていますので、市内の小学校に働きかけるといいのではないのでしょうか。実際、先日小学校で資源循環課の職員と授業に参加しましたが、ヘラスンジャーに来てもらって子供たちの記憶に残るような授業ができたと思っています。子供たちの学んだことが大人になってから生きてくるといふこともあります。 2点目に食物資源循環モデル事業について、生ごみを減らすのが大事ですが、バケツを置く場所や余計なものを入れてはいけないために、参加に踏み出せないでいます。 3点目に施設見学をしたときに、武蔵村山のリサイクルセンターで働いている人が気の毒で、3市の中では小平市のリサイクルセンターが一番進んでいるという感想です。

- 林田委員のご意見を代読いたします。
「こつこつ小平もったいないが根づくまち」の看板を作り市内に掲示したいです。
3Rの推進について、しっかり取り組んでいる人といい加減な人の差が大きすぎ、根気よく導いていかないといけません。
資源とごみの分別について、パンフレットの配布だけではよく読まない人がいるので、近所で伝えないといけません。
戸別収集について、話を聞かないがんこ者がいてごみの出し方が悪く、自分のごみが散らかり、近所の人を清掃していても本人は知りません。戸別になると少し反省するかもしれません。
食物資源のモデル事業について、参加者が少しずつ増えています。
プラスチック資源について、まだまだ近所の意識が低いので声かけが大事です。
- 会長
このような感じでお話をいただければと思います。
- 青野委員
有料化されるとお金に関わってくるので、これだけごみを減らすと年間いくら得をするとかをPRできないでしょうか。
- 板羽委員
いなげやではお店の不要な棚などの什器を別の店で使いまわす取り組みをしています。環境チームとして、いなげや環境通信という題目で3RのPRをして各店舗に実施してもらっています。130店舗以上あるのですがすぐには徹底しませんが、こつこつと実施しています。
- 乙幡委員
市民にとって一番関心がある話題は有料化と戸別収集です。さすがに無関心な市民でもほっておけないはずです。立川市、東大和市、国分寺市、東村山市も有料化しています。真剣に細かくしっかり取り組む必要があります。
2点目に、生ごみで一番悩ましいのは食料で、どうしてもいっぱい買ってしまいます。冷蔵庫でいつの間にか賞味期限や消費期限が切れてしまい、冷凍食品なら期限が切れても食べますが、冷蔵食品は買い過ぎず、期限内に食べることが大事です。
- 小日向委員
商工会の部会で会議があるときは、過剰包装をなるべくしない、天気を見てその日に売れる分だけを作る、マイバッグ持参者にベリースタンプをおまけするという話などを行っています。有料化になってカラスにごみが荒らされたら、ごみは誰が掃除するんだろうと話しています。
- 佐藤委員
少し乱暴な意見ですが、生ぬるい対処ではごみは減らないし、メリットが小さいとだめです。本気で減らそうとすれば、長い目で見れば小さい頃からの徹底した教育が必要ですが、大人に対しては何か大きなメリットを持たせることが必要です。有料化をやるにしても激しく有料化する、戸別収集もごみ袋に記名するなど、乱暴な規制や縛りをかけたらどうかと思います。
生ごみについて、バケツで回収するのではなくて、燃えるごみとは別の袋で生ごみだけを回収するとよいのではないのでしょうか。
プラスチックはカロリーが高く燃料と同じで、今の焼却炉はプラスチックを燃やしても傷みませんので、積極的にプラスチックを燃えるごみにしてはどうでしょうか。
- 島田委員
基本計画は大変いいことを書いていますが大事なのは、市民にいかにか知ってもらうかということですので、市民の意識向上のために、ごみ有料化や戸別収集などの

題を付けてごみに関する川柳を募集してみてもどうでしょうか。小平市でごみ川柳を広げれば、いずれ全国的に広がるかもしれません。

滝沢委員

人に関心を持たない人がとても増えていますので、この無意識層をどうするかということが大切で、若い人は何がもったいないかわかっていないと思います。昔はおばあちゃんの知恵というのがあって、じわーと大事なことが伝わっていました。マナーやモラル、相手を思いやる心を伝えることが大切です。

戸別収集については危惧することがあり、警察がストーカーにとってごみは情報の宝だと言っていました。戸別収集もこの点に配慮しないとイケません。

馬場委員

未利用食品は大変もったいないと思います。未利用食品を重量で表示するのではなく、年間で何億円分になるのか金額で表示できるといいと思います。教育が一番大事ですが、啓発や広報をどういう手段で行うかも大事で、市報の一口メモやヘラスンジャーをもっと活用したほうがいいと思います。

福田委員

スマホのアプリを作る予定はありますか。足立区や西東京市はアプリを作っています。

事務局

秋には利用開始したいと思います。

福田委員

私は資源事業者ですので、小学校の高学年から中学生を対象に、紙の分別や紙がどうやってメーカーに行くのか体験学習の受け入れができます。

松本委員

ごみの分別は痛みがないとやらないですから、具体的に一人当たりいくらの税金が使われているかもっと広報していくことが大切です。

山崎委員

生活クラブの代表で参加していますが、生活クラブでは例えば牛乳やジュースはビンを使っているので、ごみは本当に少ないです。トレーにしても紙でリサイクルしていますので、出すごみは本当に少ないです。

以前、最終処分場の見学をした時に埋立地は残り3分の1くらいしか残っていないと聞き、子どもの世代の処分場はどうなってしまうのだろうかと思いましたので、学校で最終処分場の見学をもっとするといいのではないのでしょうか。

食べるものは命を頂いているのだから、無駄なく食べなくちゃいけないと言っています。命を頂いているという食育をすると、子供たちの意識が変わってくると思います。

山田委員

小学校長をしておりますので、皆様の教育にかける思いがひしひしと伝わってきました。授業ではもったいないの話を子供たちにしてきました。もったいないという言葉に3Rが詰まっていると思います。江戸時代は無駄なくものを使ってきたという話をして、リサイクルのためにごみを広げて選り分ける授業をしたことがあります。

食育について、給食指導をしていますが、好き嫌いのある子がとても多いので、この点は家庭でしっかりやらしてもらわないと難しいです。アレルギーのお子さんがあるので難しい面もあります。4年生の授業では多くの小学校でごみ処理場の見学をしています。

自分の住む立川市では戸別収集が始まり、最初面倒だと思っていましたが、スタ

ートしてみると、間違うと分別指導のカードが置かれるなど、分別の意識が高くなります。スターカーの問題はシュレッダーにして出すなどで対策してはどうでしょうか。

立川市で作られた分別冊子が届きましたが、厚い本のため読まないとわからないので、見やすくわかりやすく楽しく分別ができる簡単な冊子があると冷蔵庫にくっつけることができるので便利です。

分別するためにごみ箱をたくさん置くのは大変なので、家庭でのかしこい分別方法が紹介されるといいのではないのでしょうか。

ごみに関して新しい情報をいただければ授業でも取り入れていきたいです。また、パンフレットやチラシをもらえれば他校にも案内します。

山脇委員

生ごみに関しまして、市民農園で生ごみの堆肥化をしている人に優先的に農園を使えるような協定を結べないかと考えています。段ボールコンポストの講習会やEM菌を使った堆肥化講習会が行われていますが、生ごみの自家処理については他にもいろいろな方法がありますので紹介できるといいと思います。ごみ減量実行委員会でごみ減量やリサイクルに関するパンフレットを発行してはどうでしょうか。

プラスチックはリサイクルセンターで分別圧縮して、再資源事業者に引き渡し、そこで解体し再度分別しているので、必ずしも合理的なリサイクルがされていません。行政はリサイクルに力を入れすぎない方がいいと思います。むしろ民間に委ねるような姿勢を取らないとごみ減量にならないと思います。プラスチックは海洋汚染の原因になっていますので、生産自体をどうやって減らすか考えていかないといいけません。

渡辺委員

大学でごみの研究をやっていて、昔はリサイクルの研究をしていましたが、だんだん2Rのリデュース、リユースの研究を進めるべきと思うようになり、学会でもそういう方向になってきました。

ヨーロッパの映画監督と協力して、邦題「もったいない」という食品廃棄物のドキュメンタリーを作り、それをベースにした本も出しています。

有料化との関連では、まじめにごみを出す人とそうでない人の差をつける、まじめな人はできるだけ無料に近づけるのがいいのではないのでしょうか。東大和市はプラスチックも有料のようですが、それは無料でもいいのではないかと、少なくとも定着するまでは無料がいいのではないのでしょうか。多摩市では生ごみを燃えるごみ袋に入れない人は無料にしているので、有料化の品目は限定してまじめにやれば無料になるのがいいと思います。

行政としては安心できる暮らしが重要なのでプライバシーを重視してほしいです。

スーパーの拠点回収も重要で、市として資源化のコストを削減することができ、買い物時にもっていけるのが便利だと思います。

会長

他になにか意見あれば事務局をお願いします。それでは次回、第7回の審議会の日程について、事務局から説明をお願いします。

事務局

次回につきましては、リサイクルセンターの更新を主な議題とさせていただいて、第1回のワークショップが開催された後を予定しております。

会長

次回は7月30日（木）、午後2時からとなります。

それでは、他に何も無いようなので、本日はこれで閉会といたします。
本日はお忙しい中、ありがとうございました。